

第874号

令和3年1月8日

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室

教室だより

〒952-1209

佐渡市千種丙178番地1

TEL:0259(63)4156(直)

4115(代)

FAX:0259(63)4117

E-mail:skotoba@sado.ed.jp

HP:<http://kanai-es.sado.ed.jp>

(教室だよりのバックナンバーも掲載中)

未来へつなぐ

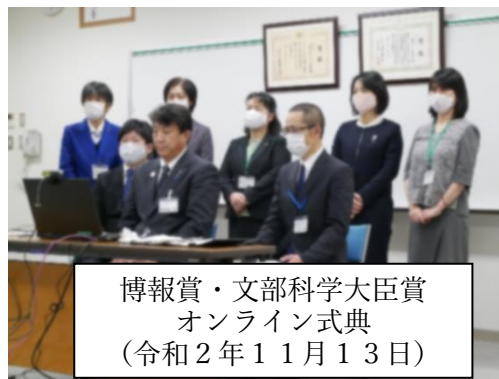
佐渡市教育委員会
教育長 渡邊 尚人

「佐渡ことば・こころの教室」が今年度の博報賞を受賞し、さらに最高賞の文部科学大臣賞にも選ばれたことに、心よりお祝い申し上げます。

受賞理由には、未就学児対象の言語検査を継続して実施し保幼小連携の充実を図っていること、高等学校での特別支援教育を視野に入れるなど、常に時代のニーズに合わせ活動を展開している点などが挙げられています。

博報賞は「ことばの力を育むことで、子どもたちの成長に寄与したい」という願いから設立され、今回で51回目の開催となります。平成6年には「ことば・こころの教室」の前身である「ことば・きこえの教室」が同賞を受賞し、新聞にも大きく取り上げられました。この度25年を経ての再受賞は大変意義のあることです。地道な教育活動が全国の皆さんに認められました。

今後もことばに障がいのある子どもたちの支えとなる活動に努めてください。



博報賞・文部科学大臣賞
オンライン式典
(令和2年11月13日)

歩みの先に

佐渡ことば・こころの教室は一昨年、50周年記念として様々な事業を執り行いました。どの事業も多くの方から御参加いただき、お祝いの言葉をたくさん頂戴しました。しかし、希望を胸に新たな一步を踏み出した昨年、今まで経験したことのない事態に陥りました。日本中であらゆる活動が制限され、当教室も、親の会総会、学習会といった活動ができなくなりました。

そのような先行き不透明な中、次なる50年に向けての一步を象徴する出来事がありました。まず、親の会役員中心で行った、高校通級指導教室設置に向けての署名活動です。現会員だけでなく、教室の卒業生やその保護者、支援学校・支援学級在籍児童生徒の保護者、関係機関等に協力をお願いしたところ、2500名以上もの署名が集まりました。この数は、50周年記念事業参加者の実に6倍以上になります。次に、当教室が各賞を受賞したことです。第51回博報賞においては「博報賞」「文部科学大臣賞」を受賞しました。さらに金井小学校の通級指導教室としても、教職員組織の「新潟県優秀教職員表彰」「文部科学大臣優秀教職員表彰」を受賞しました。当教室の活動に御協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

子どもたちにとって、より良い環境を整えたい。その願いを胸に進んだ先に、思いも寄らない素晴らしい結果が待っていました。これからも、親の会会員を始めとした保護者・関係機関・地域の皆様と共に、一步一步、歩みを進めていきたいと思っております。明るい未来を目指して。(中村)

親の会コーナー



保護者の声

いつもありがとうございます

相川地区 O・T

ことば・こころの教室に幼稚園からお世話になっている息子も中学生になりました。コミュニケーションが苦手な息子はたくさんの壁にぶつかり乗り越えられない時が今でもあります。ことば・こころの教室では、友達とのかかわり方「こんな時はどうする？」や「イライラしたらどうしようか？」など先生と一緒に考えたり教えていただいたりしています。時には楽しくゲームやお話をしたり、辛い気持ちを聞いてもらったり・・・息子にとって学びと癒やしの時間になっていると親として感謝の気持ちでいっぱいです。

高校に通級を!!今年度の親の会の活動を知った時に、息子が安心して高校へ通えるように実現していただきたいと思いました。実現する事を心から祈っています。

終了者懇話会のお誘い

佐渡ことば・こころの教室では、「終了者懇話会」を開催しています。今年度終了となった子どもとその保護者の方を対象に、これまでの頑張りを称え、教室に関係するみんなで終了を祝うための会です。昨年度は、新型コロナウイルスのため、開催を見送りましたが、今年度は現在のところ、実施する予定です。

終了式では、「終了証書」授与が一人一人に行われます。懇話会は、同じように終了する仲間と語り合う場になります。

終了される皆様、御出席をお願いいたします。

○日時 3月19日(金) 15:30~16:40

○場所 金井小学校



ことば・こころ応援団



今月のことば・こころ応援団は、元担当者の山口明美様（現佐渡市立七浦小学校長）です。山口様は、平成19年から6年間教室を担当されました。明るい人柄で、楽しい教室だったそうです。昨年行われた50周年記念事業のアトラクションでは、ピアノ伴奏をしてくださいました。山口様は、教室を離れられてからも、教室のことを気にかけてくださっています。

T君親子の思い出

元教室担当 山口 明美

12月になると、我が家にT君から定期便が届きます。T君はすでに30歳を超えた立派な社会人です。15、6年くらい前から欠かさずことなく毎年届けてくれます。そこには自分の今の近況が2~3行綴られています。そして、必ず最後は来年の抱負と私への労いの言葉で結ばれています。T君を担当したのは、T君が小学校2年生の時でした。落ち着かない行動に、どうしてよいか分からず、誰に相談すればよいのかも分からず悩みました。そんな時、私が最も頼りにしたのはT君のお母さんでした。お母さんはT君を理由無く叱りませんでした。学校で毎日食いちぎられた名札は、翌日は必ず新しい名札に変わっていました。現在のようにT君のような困り感を抱えた子どもへの理解が進んでいない時代です。お母さんは周囲からの心ない言葉も受けたと思います。残念なことにお母さんは数年前亡くなられました。「親はいつまでもいるわけではない。一人で歩けるように育てておくことが大事」T君親子から学んだことは、ことば・こころの教室を担当していた時も私の原動力でした。



新型コロナウイルス感染症の状況により、中止となる場合もあります。その場合は参加者の方に御連絡いたします。